悩むより乳がん検査

胸にしこり 婦人科医院へ

実況見聞 奈良あれこれリポート

石田 貴子

胸を触ると、感じるしこり。「気のせい」と自分に言い聞かせてきたが、前々から気になっていた。ま、まさか乳がん？　昨春オープンしたばかりの王寺町の婦人科医院を訪ねた。

エコー検査の様子。左のモニターに映し出される画像を、自分で確認しながら受けられる＝王寺町で

ドキドキで診察台 良性の診断にホッ

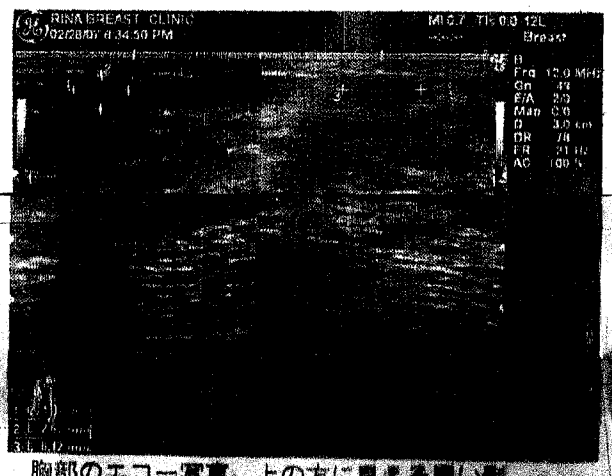
こりの有無を確認するだけではなく、二つの画像診断を組み合わせることで発見率を高めるという。県内の各市町村では、40歳以上を対象にマンモグラフィーを使った乳がん検診を実施している。

マンモグラフィーは、乳腺・乳房専用のレントゲン撮影。石灰化（カルシウム沈着）した「しこり」を映し出すことに優れ、わずかな乳腺の変化をとらえることが出来る。しかし、若い人の場合、乳腺が発達しており、腫瘍を見つけにくいという。このため、超音波をあてて乳房の断層像を撮るエコー検査を受けることにした。

ドキドキしながら上半身裸になって診察台に横になる。まず胸やわきを泉医師に触ってもらって、しこりがないかを確認。「左にしこりがありますね」と言われた。

泉医師が皮膚に特殊なゼリーを塗り、プローブ（探触子）と呼ばれる装置を胸にあてて上下左右に移動させると、ベッド横のモニターに次々と波のような画像が映った。

「この波のようなのは乳腺です。よく発達してます」。やっぱり泉医師の手が、左胸の中央部分で止まった。「黒い影が見えますね。違う角度からも撮ってみましょう」。角度を変えても同じ影がモニターに映し出された。5センチ程度の「しこり」が確認されてしまった。



胸部のエコー写真。上の方に見える黒い影が、良性の「しこり」と診断された部分

「乳腺に発達した腺腫に伴う腺腫内部のしこりです。良性腫瘍ですよ」。腫瘍は良性だが、食べ物の消化吸収を妨げる脂肪を蓄積する脂肪細胞が増殖するとも考えられるとのこと。

エコー検査は数センチ程度の小さなしこりを発見することが出来るが、検査時に術者が異常に気づかなければ、記録画像を見直しても腫瘍が見つけにくい短所があるという。

診察室の隣にあるレントゲン室に、自分の背丈より大きな機械が鎮座しているのを見つけた。マンモグラフィーだ。記者の小さなしこりを発見することが出来るが、検査時に術者が異常に気づかなければ、記録画像を見直しても腫瘍が見つけにくい短所があるという。

診察室の隣にあるレントゲン室に、自分の背丈より大きな機械が鎮座しているのを見つけた。マンモグラフィーだ。記者

ヨガやアロマテラピー エステ感覚 気軽に通院

クリニックに併設された「メディカルサロン」。ここではエステやアロマテラピー、ゲルマニウム温浴などの健康法が試せるほか、泉医師が講師を務めるヨガ教室が開かれている。ダイエットヨガや産後ヨガなどが週数回の中から、妊婦用の「マタニティーヨガ」の教室をのぞかせてもらった。

「息を吐きながら体を脚に近づけます……はいここで一呼吸」。ヒーリングミュージックが流れる中、泉医師がささやく。脚を開いて座って前傾したり、あぐらをかいて腰を倒したり。ストレッチで股関節を柔らかくするとともに、産前の不安を解消する精神安定効果を狙っているという。

この日教室に来ていたのは妊娠8カ月と8カ月の主婦2人。広陵町の金力恵さん(33)は、「リラックスで楽で心地よかった。安産できるかな」。

同サロンがオープンしたのは昨年4月。医療と美容の「いいとこどり」で相乗効果を狙っている。例えば、更年期障害で精神的に不安定になったクリニックを訪れた人は、ダイエットのためにサロンを訪れた人はクリニックの肥満外来で漢方薬を受ける、などを想定した。

これなら気軽にエステに行く感覚で気軽に婦人科に通えそうだ。

妊娠中の女性を対象にした「マタニティーヨガ」。股関節を柔らかくするという＝王寺町で

女性による専門外来次々

思春期・更年期・不妊

「体調が良くないが、どこが悪いのかわからない」「悩みは女性に相談したい」。こうした要望に応え、婦人科病院は「女性による女性のための専門外来」を次々と設けてきた。

10代の女性を対象に性やダイエットに関する悩みの相談を受ける「思春期外来」、女性の更年期障害を予防・治療する「更年期外来」、不妊治療を施す「不妊外来」など様々だ。

県立医大付属病院でも05年から「女性専門外来」を始めた。予約制で、毎週月曜日の午後2時から4時半まで、専任の女性医師が診察にあたり、必要があれば他の診療科に紹介する。毎週ほぼ満員だという。予約は専用電話（0744・29・7500）。

H19.3.10付
「朝日新聞」掲載